

さんえすクラブ研修会が開催しました

さんえすクラブ会長 (株)浜食 中村 秀一郎

2014年4月12日に「さんえす研修会」を行いました。

今回は第1部に生活クラブ生協神奈川 大石専務理事・福祉クラブ生協 関口専務理事を講師としてお招きし、「生活クラブ・福祉クラブのこれからと、さんえすクラブに期待する事」という項目で両専務理事に講演して頂きました。

大石専務理事からは、「情勢と生活クラブの課題」としてわかりやすく説明して頂き、「生活クラブ運動として、いかに立ち向かうか」を今後起こり得る超高齢化社会等に向けてどの様に運動を進めて行くのかなどを聞かせて頂きました。

また、「食の自給圏づくりとしての共同購入運動」では、フェアトレードを実現する運動についてもお話されました。

食の自給圏づくり(共同購入運動)は、ステーキホルダー(関係当事者)との連携・連帯なくしてはできないし、生活クラブ運動の最大のステーキホルダーは「生産者」である事、そして単なる取引では無く提携の関係に高め、今後も公共的討議を継続・発展させていくことが重要になる。と、さんえすクラブに対する期待もお話して頂きました。

関口専務理事からはパワーポイントを使って、福祉クラブ生協の活動や発足からの歴史、各ワーカーズコレクティブの紹介や活動などについてわかりやすく講演されました。

特にワーカーズコレクティブについて細かく説明して頂き、改めて福祉クラブ生協の活動が地域密着型だと感じさせられました。

両生協の考え方や、さんえすクラブに期待する事など短い時間の中で聞かせて頂き、非常に有意義な講演だったと思います。

第2部では「さんえすキャンペーンをどう盛り上げていくか」という項目で、両生協より大勢の理事の方々にご参加頂いて、時期や期間、交流会での内容、チラシの作り方等、短い時間でしたが大変多くの意見が出され、有意義な意見交換ができました。

今回の研修会の中で出された意見等は、今後も討議を深め、協力関係を進めて行きたいと思っています。



◆13年度 さんえすクラブ研修会◆

●開催日時：2014年4月12日(土) 午後1時～午後5時

●開催場所：生活クラブオルタ館3階 スペースオルタ

●内 容：

【第一部】生活クラブ、福祉クラブの

これからとさんえすクラブに期待する事

講 師 生活クラブ生協 専務理事 大石高久

福祉クラブ生協 専務理事 関口明男

【第二部】さんえすキャンペーンをどう盛り上げていくか

全体会 さんえすキャンペーンのデポー／福祉クラブでの活動

生活クラブ事業部 押鐘謙一

福祉クラブ物流部 南雲 彰

—分科会— A～C 3チームに分かれて討議

—全体会— 各チームからの報告

●懇 親 会：レストランWEにて(研修会終了後) (敬称略)



分 散 会

Aグループ (株)エコ・グリーン 大貫正人

Aグループは「さんえすキャンペーン」について意見交換を行いました。

今回は組合員の方々の参加が多く、キャンペーン内容に関するご意見はもちろんのこと、よりキャンペーンを盛り上げるための実施時期や期間など、生産者側からでは気付にくいご意見をいただきました。

今後の参考になる大変有意義な分散会になりました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



Bグループ (株)ウエルライフ 石川京子



Bグループは福祉クラブの理事の方、担当職員の方と、今年度初めての試みの交流会について活発な意見交換ができました。2013年12月に行われたさんえすまつりには、交流会企画担当者の方が参加され、交流会のイメージがわきよかった。また、今後交流会を年間で計画化していきたい。交流会の企画から相談しながらともに組み立てたい。とのご感想ご意見をいただきました。さんえすキャンペーンのチラシに関して、生産者紹介の項目では、取扱い消費材も紹介したほうがよい等のご意見をいただきました。

Cグループ (株)ニッコー 山崎雅史

Cグループは自己紹介も含めてスタートしましたが、各センターやデポーでの現場の実態や思いを一人一人思い思いに話していただきました。いつも頭の中で考えているからこそ、あふれ出る思いや課題をみんなまで共有しつつ話し合えた場になりました。

方向性として話題は様々でしたが、どれもお互いが考えさせられる、今後に活かせる内容だったと感じました。今回で尽きることのない課題もありましたが、我々も気づきの多い分散会となりました。



研修会に参加して

生活クラブ生協 藤田ほのみ 副理事長

今年の研修会では、福祉クラブの関口専務、生活クラブ神奈川の大石専務からそれぞれのすすめてこられた運動のお話とさんえすクラブへの期待という、お話を伺うことができました。それぞれ運動の進め方など異なるところもありますが、実現していきたいことに共通するものをたくさん感じました。

また今年の研修には、生活クラブからは、デポーのワーカーズが参加し、さんえすキャンペーンの盛り上げ方について、熱心に議論することができました。今年9月にデポーでさんえすキャンペーンを開催します。きっと、例年以上に盛り上がるのではないかと期待しています。

福祉クラブ生協 荒川啓子 副理事長

研修会に参加させていただきありがとうございました。今回は生活クラブの大石専務の講演をはじめとお聞きすることが出来ました。また、福祉の専門生協としてサービスや組合員を広げてきた福祉クラブの共同購入の在り方について話された関口専務の話は、きっとさんえすクラブの皆様にも興味深く受け止めていただけたのではないかと思います。さんえすの生産者の皆さんのおかげでスタートできた福祉クラブだったということ、それから25年、ワーカーズ、職員が世代交代していく中でこれからもお互いに思いを継続しつつ、子育て世代から高齢者まで、組合員への生活提案を一緒に考えていくことが出来たらと思います。

さんえすクラブの活動によせて



生活クラブ生活協同組合
半澤 彰浩
専務理事

夢をあきらめない。—新しいチャレンジをすすめる新しい人の登場を！—

時代は経済のグローバル化の象徴としてのTPP交渉への参画、特定秘密法案、憲法解釈の変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定、原発再稼働など右傾化、中央集権化、請負型・依存化という、人間が手段とされるような生きづらい社会、たくさんの社会の問題が噴出している社会の大転換期を迎えているという認識します。6月に開催した総代会では、1) 人間社会の未来を協同してつくるために、自分で考えて、行動する人を広げ、共同購入運動、仲間づくりをすすめる。2) 地球の未来を協同してつくる運動をすすめる。3) 協同組合を中心としや地域コミュニティを協同してつくる。の3点を基本方針としました。今、この社会やこの国の未来がどのような方向に行ってしまうのか、そうした転換点に我々は生きています。私たちは今の現状を少しずつ変えて未来に向かってすすみたいと考えます。近未来である2050年をどんな社会にしたいか。そして2100年の地球を考えて行動したいと考えます。未来の子どもたちからこの地球や環境、社会を我々は預かっているに過ぎません。食、エネルギー、ケアの自給圏（自治圏）づくりを運動としてすすめます。また2015年からの共同購入システム改革を拡大の飛躍としていきたいと考えております。

自分たちの組織や運動や事業を自分の責任で問題解決することが重要です。中央集権・独占に象徴される20世紀型（大量生産型・もの社会）社会ではなく、地域分権・自立、そして、ヒエラルキーではなくネットワーク型社会の構築にむかっていきたいと考えます。さんえすクラブ生産者のみなさんは私たちの運動をすすめる大切なパートナーです。生産者と私たちがそれぞれ持つ「夢」をあきらめないで、新しい社会づくりにむけて運動を共にすすめてきましょう。

今年度から福祉クラブの専務理事になりました児玉です。日頃より、さんえすクラブの皆様には組合員活動等、いろいろな場面でご協力いただきありがとうございます。さて、今年度福祉クラブ生協は創立25周年を迎えます。福祉クラブでは設立当初より、困ったときはお互いさまの想いを大切に、組合員が住むそれぞれの地域でたすけあいの循環を広げる活動を進めてきました。25年が経ち、最近では設立当初から関わってきた組合員がさまざまな福祉サービスを受ける事例も増えてきました。また、組合員の年齢や生活スタイルの変化から共同購入の利用の仕方や参加のあり方も多様化が進んでいることも感じています。現在、次の5カ年の中期計画づくりを進めています。この計画は今後、新しく参加する組合員も含めてそれぞれの地域の街づくりを進める指針となります。組合員が描く夢を追求するに当たって生産者とのパートナーシップも、より一層強めていくことが必要だと考えています。さんえすクラブの皆さま、今後とも宜しくお願いします。



福祉クラブ生活協同組合
児玉 英恵
専務理事

情報部会報告

..... (株)佐藤印刷所 情報部会リーダー 山田 恵介

■一歩一歩進化しています さんえすクラブのホームページ

さんえすクラブでは、新鮮な情報を広く発信していく為に、2011年3月に独自ホームページを開設しました。情報部会は、ほぼ毎月1回のペースで定例会を開催して、ホームページの利用状況やアクセス数等の点検と内容の充実化等の検討を行っています。生活クラブ・福祉クラブとも協議を重ね、2013年6月より動画の掲載も出来るようになり、映像と音声で伝えたいことをより分かり易く、インパクトを持って伝えることも可能となりました。会員の皆さん、旬な情報の積極的提供をお願いします!!

■消費材ブックレット完成急ぐ

会員情報や消費材情報の積極的なアピールと福祉クラブ・生活クラブの活動との連携強化を目的に、

消費材のレシピや使い方の工夫、おすすめポイントなどを、2014年4月よりホームページに、「消費材ブックレット」として随時掲載しています。全会員1件以上の情報提供をお願いしています。ご提供未だの会員の方は、急ぎご協力を!

■生活クラブのフェイスブックと連動しています

2014年5月から、生活クラブ神奈川のfacebookに、毎月1回情報を投稿しています。

内容は消費材ブックレットをはじめとした消費材情報や、会員情報の紹介などで、基本的にさんえすクラブのホームページに掲載した情報とリンクしています。全会員持ち回りにて進めて行きます。今後皆さんにも投稿の依頼をさせていただきます、ご協力の程よろしくお願い致します。

役員会報告

さんえすクラブ事務局長 小林 利明
共生食品(株)

5月下旬から6月初旬にかけて開催された、各生協総代会へ、下記の通りに出席しました事を報告致します。

5月16日(金) W.Co協会	1名参加	5月29日(木) 横浜北	2名参加
5月30日(金) 横浜みなみ	1名参加	5月30日(金) かわさき	1名参加
5月30日(金) 湘南	1名参加	5月30日(金) さがみ	1名参加
6月3日(火) 福祉クラブ	2名参加	6月13日(金) 神奈川	2名参加

交流企画部会 報 告

交流企画部会リーダー
(株)カワグチ企画 川口 圭

8/5に各地域生協事務局長との交流会が行なわれました。初めての取組ではありましたが実際に現場で組合員活動や交流会などを管轄している方々との交流は今後の活動に大きな役割を果たすと思われ、お互いの活動報告や問題点などを話し共有することが出来ましたので非常に有意義な時間でありこれからも継続的に行なうことにより活動の活発化が図れるものと確信できました。



●ふくしまつりに参加しました

6月1日(日)、福祉クラブ生協「第19回ふくしまつり」が開催され、さんえすクラブ会員13社が参加しました。全22会場に来場者7,350人、売上・カンパ442万円、加入者23名。暑い日差しにも負けず、皆さん元気にまつりを楽しんでいました。



催があれば多くの生産者に参加していただきたいと思っています。

●「畑見学&バーベキュー」を開催しました！

主催幹事 株豆彦 今井正樹

8月2日(土)天気は快晴、最高気温34.3℃と熱中症が心配される陽気の中、当会会員で地場野菜生産者代表の大久保和義さんの畑の一角での開催となりました。

この日は、あいにく地域生協理事研修会と日程が重なってしまい、横浜北のみの参加となってしまいましたが、ワーカーズ、福祉クラブ、ユニオン職員の方々、そして、当会生産者で計38名(子供7名)と大勢の参加者にお越し頂きました。当日は会場周辺の畑見学を行った後、五十嵐理事長の乾杯によりバーベキュー開始。食べながら、飲みながら、談笑して、のんびりとした時を参加者全員で過ごせました。怪我人、病人等を出すことなく無事終了出来た事も報告します。関係者の皆様方、暑い中ご協力頂き誠にありがとうございました！



●職員自主学習会 消費材フェスタに参加しました

(株)カジノヤ 宮下正一

2014年6月21日(土) オルタナティブ生活館にて開催

主に配達業務を担当されている生活クラブ職員有志の方々が企画準備・進行を行った、新しい取り組みに参加しました。複数の生産者との学習交流会を通じて、消費材についてより理解を深め、組合員との対話に役立つ事を目的とした意欲的な取り組みでした。私はといえば、ベテランの先輩方の話の上手さに圧倒されアピールの機会を十分に活かしきれなかったのですが、大変勉強になるので、もし次回の開



◆ 2013年度通期データ ◆

1. 生活クラブ組合員人数報告 (14年3月末)

班・戸配	45,503人
デポ一	22,245人
計	67,748人

2. 生活クラブ供給報告 (4月～3月累計)

班・戸配	147億7,737万円 (95.7%)
デポ一	45億4,597万円 (112.7%)
計	193億3,641万円 (99.2%)
一人当たり利用金額	
班・戸配	26,927円

3. 福祉クラブ報告

デポ一	17,201円
組合員人数	16,350人 (14年3月末)
供給高(4月～3月累計)	25億451万円
	(前年比 101.0%)
一人当たり利用金額	12,965円